

大規模事業所訪問調査報告書

訪問日	27 年 10 月 29 日	訪問事業所	
事業所担当者名		事業所連絡先	

訪問担当職員	
--------	--

調査内容及び現場状況

調査項目1: 廃棄物の適正処理及び分別の徹底



特記事項

可燃物の中に、廃プラや紙の混入が少数ある。
聞き取りから、汚れている廃プラは可燃物との認識してる人が多かった。

対策として、ごみ箱の上に分別表の掲示や、
可燃物の中に、古紙や廃プラが混入している
旨を文書で通知し、その中で分別方法の教示。

調査項目2: 紙の分別の徹底



特記事項

紙類については、①新聞・チラシ、その他リサイクル可能な紙類 ②シュレッダー(機密性のあるもの) ③段ボールの3種に分別。

割りばしの袋などの小さい紙やOA紙が少量
可燃物のごみ箱に見受けられるが、概ね分別
は良好である。

調査項目3:食品リサイクルの実施



特記事項

食品残渣については、全量を回収業者に引渡し飼料としてリサイクルを行っている。

屋外で保冷可能な密閉式の容器で保管しており、毎日業者が回収に来るため、悪臭等無く、衛生的な環境が保たれている。

調査項目4:保管庫の状況



①段ボール ②古紙 ③不燃物 ④缶・ビン・ペットボトル ⑤可燃物 ⑥廃プラ を設置、種別ごとに色分けし、それぞれ回収日を記載。

保管庫の中には仕切りを設け、整然としており、回収時の混載を防いでいる。

調査内容詳細(指導内容他)

- 訪問以前は、職員の中で『汚れた廃プラは可燃物』と家庭ごみと混同している方が、多かったが廃棄物管理責任者同行の上、各事務所内で調査を進める中で職員の方が分別に興味を示し、分別の説明を丁寧にすることが出来た。廃棄物管理責任者の方も、分別周知の文書配布等の適正排出・減量に対し積極的な対応を取っていただいた。今後、適正排出・ごみ減量を進める中で年間のごみ排出量を意識し、どのくらい減量が出来たか確認するよう依頼した。